

「音」を理解するための教科書（初版1刷）正誤表

頁	行, 図番号	誤	正
35	下から5行目	耳介（耳たぶ）	耳介 ※p.69の3行目にもあり
70	下から9行目	内耳はリンパ液で満たされた先の閉じた細長い管で、3回半ほど巻かれた渦巻形の器官です。カタツムリのように見えるので蝸牛と呼ばれています。	内耳はリンパ液で満たされた先の閉じた細長い管で、内耳にある約3回ほど巻かれた渦巻形の器官が蝸牛です。
105	2行目	6.1 われわれが声を発生する仕組みは咽頭部にある	6.1 われわれが声を発生する仕組みは喉頭部にある ※目次も訂正
	下から7行目	咽頭部	喉頭部
	下から3行目	声道とは、咽頭と口腔と鼻腔を	声道とは、声帯が存在する喉頭に加え咽頭と口腔と鼻腔を
106	図6.1		
	図6.1の図説	咽頭で声を発生する仕組み	声道で声を発生する仕組み
	6行目	パルス波は、咽頭、口腔および鼻腔からなる声道	パルス波は、喉頭、咽頭、口腔および鼻腔からなる声道
107	5行目	この声帯の振動を伴わずに発せられる無声音が子音です。	このように声帯の振動を伴わずに発せられる無声音は子音（有声音を伴う子音も存在します）です。